



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2023/4/9 Rd-2 FUJI Speedway

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：22台

観客数：8日(土)12,700人 9日(日)14,400人 合計27,100人

快晴の中迎えた開幕第1大会富士スピードウェイ第2戦決勝。2レース制で開催される今大会、午前中の予選から4時間余りでレーススタートの時を迎える。

午前中の予選で、走路外走行によりベストタイム抹消のペナルティとなった太田選手は、19番グリッドからのスタートとなる。

スタートで抜群の蹴り出しを見せた牧野選手は、1ポジションアップの11番手でオープニングラップを終えると、2周目に10番手、7周目に9番手と、着実に順位を上げる。太田選手も2周目までに2ポジションを上げ、17番手で走行。しかし8周目の1コーナーでアレジ選手のインに飛び込んだ太田選手はアレジ選手と接触。アレジ選手はスピンしコースサイドにマシンを止めてしまったため、セーフティカー（以下SC）が導入された。

このSC中に、タイヤ交換が出来るピットウィンドウがオープン。平川選手を除く全車がピットインし、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台はチームの完璧なダブルピットストップにより、牧野選手、太田選手共に1ポジションアップでコースに戻る。12周目にレースが再開されると、タイヤをマネジメントしながらも随所でバトルを繰り広げ、牧野選手は後半自己ベストタイムを更新しながら8位フィニッシュ。3ポイントを得た。太田選手は、アレジ選手との接触でフロントウィングにダメージを負いながら我慢の走行。19位で完走した。

5：牧野任祐 8位

昨日の第1戦ではクラッシュしてしまいましたが、幸いレースを完走することはできて、そのデータや感触も踏まえて第2戦に臨みました。

改善されている部分もあるのですが、まだまだ低い次元にあると思うので、さらなる見直しと対策が必要です。

次戦鈴鹿まで時間も無い中ですが、出来る限りの準備をして臨みます。

6：太田格之進選手 19位

昨日今日と経験の少ない中ではありますが、車への理解と適応を周回ごとに感じる事が出来ました。車のフィーリングは週末の中でもっともよく、アレジ選手を早い段階で抜こうと思いましたが、接触によりフロントウィングにダメージを負ってしまい、タイヤも痛めてしまいました。チームはピットストップで素晴らしい仕事で送り出してくれましたが、手負いの車でポジションを落とすこととなり残念です。

今回学んだことを生かし、2週間後の鈴鹿戦に向けてしっかり準備して、より良いパフォーマンスをお見せしたいと思います。